

ア ジ ア 日 誌

7月17日 — 9月15日

7月17日

- ◆中国人民政治協商会議全国委終わる。
- ◆国府、反共指導者会議を計画。
- ◆北鮮国家計画委、60年度上半期の生産課題遂行を発表。
- ◆マラヤの鉄道員全国同盟、全鉄道労働者の単一組合を組織。
- ◆インドの米英系石油会社、インド政府に原油の7.5%値引きを申し入れ。
- ◆イスラエル政府、ナイジェリアに1000万ドル借款供与。
- ◆アラブ連盟イスラエル排斥本部、日英合弁会社などを含む21社のボイコットを発表。
- ◆アラブ連合政府、エジプト地区の医薬および茶の輸入配給会社国有化を発表。
- ◆カタンガ州政府分裂。バルバカト党、コナカト党、各々独立州政権樹立。

7月18日

- ◆核実験停止会議で米代表、中国の核協定参加を希望。
- ◆米・国府両国、台湾海峡で合同演習実施。
- ◆タイのサリット首相、法律違反の中国人500人の追放を指令。
- ◆インドネシアの「協力議会」休会。
- ◆DLF(米開発借款基金)、レバノンのアルミ会社に40万ドル借款供与。
- ◆ナセル・アラブ連合大統領、同国最初の議会成立を宣言。

7月19日

- ◆中国政府、国境から20キロ撤退を約束。
- ◆北京でヴェトナム人民支持集会開く。
- ◆モンゴル人民共和国、第4期大フラルダン(人民代表大会)の選挙施行。

- ◆フィリピン議会、米および穀物の生産を国有化する法案を可決。
- ◆インドネシア政府、外国人出入国・居留関係担当にナスチオン国防治安相を任命することを閣議決定。
- ◆サウジアラビア政府、ジラ港を国有化。
- ◆カサブ・アバコ党首、連立政府樹立を発表。ルムンバ・コンゴ民族運動総裁、これをカイルイ政権と非難。

7月20日

- ◆国連のA・A29カ国、ベルギー軍撤退を要求。
- ◆ネパール政府、中国軍の7月第1週ネパール領侵入に抗議。
- ◆カンボジアの元首シアヌーク殿下の3王子北京に留学。
- ◆セイロン総選挙施行。
- ◆ネパール国王ニューデリー訪問。
- ◆イラン政府、8月に総選挙施行を発表。
- ◆シェハブ・レバノン大統領は辞表を提出したが、その後議員の要求により取り下げた。
- ◆スーダンのイブラヒム・アブード首相、アラブ連合訪問。

7月21日

- ◆セイロンのスリランカ自由党首バンダラナイケ未亡人、首相に就任。
- ◆日本政府とヴェトナム共和国との賠償実施計画決まる。

7月22日

- ◆南ヴェトナム政府、米援助による原子力研究所建設計画を発表。
- ◆インド政府、政府公務員の賃上げスト参加者3000人を解雇。

7月23日

- ◆セイロンのシリマオ・バンダラナイケ首相、閣僚を任命。
- ◆日中友好協会第10回全国大会、東

京で開催。

7月24日

- ◆北ヴェトナム、南ヴェトナムの非武装地帯侵犯に抗議。

7月25日

- ◆中国・インド国境会談終わる。
- ◆インドネシア国民党、スラカルタで第9回党大会を開催。
- ◆日本・フィリピン通商航海条約交渉再開。

7月26日

- ◆スバンドリオ・インドネシア外相と黄鎮中国大使、華商の処遇問題で会談。
- ◆インドネシアのビンタン・チムール紙復刊。
- ◆ウ・ヌー・ビルマ首相、共産主義反乱指導者との停戦交渉を否定。
- ◆ファイサル・サウジアラビア首相、同国紅海沿岸のジッダ港国有化法に署名。

7月27日

- ◆中国・ビルマ国境合同委員会第2次会談開く。
- ◆朝鮮軍事休戦委員会第123回会談開く。
- ◆フィリピン政府とインドネシア政府、領海に関する協定を結ぶ。
- ◆バグダッドでイラク・ブルガリア間の文化協力計画調印。
- ◆アラブ連合、イランの駐カイロ大使および大使館員を国外へ追放。
- ◆イラン政府、駐イラン・アラブ連合大使に国外退去命令。

7月28日

- ◆スカルフ・インドネシア大統領にレーニン平和賞授与。
- ◆パレンバンで3万1500人のデモ隊、共産党の非合法化を要求。
- ◆英国のパーマ・シェル石油会社、

インド向け原油輸出価格引き下げを
発表。

◆カセム・イラク首相、イラク領海
内の海底石油採掘権を国際入札に付
すと発表。

◆アブード・スーダン首相とナセル・
アラブ連合大統領、会談コミュニケ
を発表。

7月29日

◆中国・ネパール平和友好条約批准。

◆英植民地省、シンガポールの開発
5カ年計画援助のため、760万ポ
ンドの借款供与を発表。

◆世界銀行、インドに対し鉄道施設
の改善、拡張のため7000万ドルの
借款供与。

◆米國、インドに余剰綿花を供与す
ることに同意。

◆米政府、ネパールに産業開発援助
のためインド・ルピーで100万ドル
の借款供与を発表。

◆アラブ連合の国民議会、イランの
イスラエル承認を非難。

◆ニューヨーク・タイムス紙によ
れば、アラブ連盟の対イスラエル経済
ボイコットをイランにも拡大。

7月30日

◆韓国南部の4選挙区では投票箱が
焼かれたり、こわされたりしたため
選挙のやり直しを決定。

◆ユーゴ・インドネシア両国、科学
技術援助に関する協定を締結。

8月1日

◆中国・ビルマ国境合同委員会第2
回会議第3次会談終わる。

◆韓国の統一選挙を不正として、大
邱地区で暴動。

◆マラヤ、南アフリカ商品ボイコ
ットを実施。

◆英政府、シンガポール5カ年計画
に6450万マラヤ・ドルの援助を決定。

◆ハッタ・インドネシア前副大統
領、米國、欧州の訪問を終え帰國。

◆ネール・インド首相、ナガラ
ンド州成立を発表。

◆シャン州駐在のビルマ軍、約500
人の反乱軍と交戦。

◆米・アラブ連合同国、エジプト地
区に余剰農産物を供与する協定に調

印。

◆アラブ連合シリア地区、ロイヤ
ル・ダッチ・シェル石油会社に石油
を売却する協定に調印。

◆レバノン新首相兼内相にサエブ・
サラム氏を任命。

◆仏領西アフリカのダホメ、仏共同
体内の共和国として独立。

◆ルムンバ・コンゴ首相、國連軍の
カタンガ州派遣を要請。

8月2日

◆ヴェトナム人民軍総司令部代表
団、米軍事援助顧問団の南ヴェト
ナム退去を要求。

◆インドネシア、ユーゴ両国、相互
の貿易拡大を規定した協定に調印。

◆インドネシア共産党機関紙ハリ
アン・ラキヤット復刊。

◆アユブ・カーン大統領、パキス
タンの公式首都をワラルピンジに決
定。

◆DLF(米開発借款基金)、エジ
プト地区の産業銀行に700万ドルの
借款供与。

◆カタンガ州のツォンベ首相、カ
タンガの完全独立を主張。

8月3日

◆米國のカルテックス石油会社、
インド向け原油輸出価格値下げを
通告。

◆ビルマ軍最高司令官ネ・ウィン
大将、1960年度マグサイサイ賞を受
賞。

◆タイ・マラヤ両国、両國国境付
近に出没するテロリスト掃討で意見
一致。

◆ヨルダン政府スポークスマン、
英國は数日中にヨルダンに350万
ドル、12月に350万ドルの援助を
与えるだろうと言明。

◆エリザベス英女王、西インド諸
島連邦に正式に内政自治権を与える
法律に署名。なお国防と外交政策に
ついては英政府が支配する。

◆ニジェール、仏共同体内の共和
国として独立。

◆カタンガのツォンベ首相、國連
軍のカタンガ進駐に反対。

8月4日

◆韓国の民主党田派、分裂を声明。

◆タイ、アジア連合(東南アジア友
好・経済条約)参加に同意。

◆米輸出入銀行発表によると、米・
イラン物資販売協定成立。

◆世界銀行、イスラエルに2750万
ドルの借款供与。

◆アフガニスタン、チェコから10万
ポンド贈与の協定に調印。

◆SEATO(東南アジア条約機構)本
部、軍事演習の強化を発表。

8月5日

◆北鮮赤十字社の金成基社長、「新
潟会談」の要請に同意。

◆フィリピンのタルラック州政府、
米軍用地の返還を要求。

◆インド西ベンガル州のムケルジ
警察長官、中共系中国人に国外退去
要求。

◆モルッカと西イリアン地区、オ
ランダ軍の攻撃に備え警戒措置。

◆南アフリカのボルタ、仏共同
体内の共和国として独立。

8月6日

◆ヴェトナム人民連絡代表団、南
ヴェトナムの武器不法搬入に抗議。

◆サイゴン各紙の報道によると、
西部諸州で共産ゲリラ活動活発化。

◆パキスタンのショアイブ蔵相訪
日。

8月7日

◆ヴェトナム人民軍総司令部連絡
代表団、南ヴェトナムの米空軍基地
拡張に抗議。

◆フィリピン下院のイニグエス移
民委員長、華商の入國に反対。

◆國連安保理のセイロン、アルゼ
ンチン、チュニジア、エクアドル
の4國、ベルギー軍撤退で共同決
議案を提出。

8月8日

◆コンゴ問題討議のため國連緊急
安全保障理事会開く。

◆韓国の張勉首相、米議会对し、
対韓経済援助3000万ドル増額を
要請。

◆朝鮮労働党中央委員会拡大会
議開く。

◆インド政府、対ソ原油買い付け交

涉中止。

◆インド政府、日本のインド鉄鉱石買い付け増加を発表。

◆インドネシアの共産党と国民党の指導者、意見交換。

◆アラブ連盟緊急会議終わる。

◆西アフリカの象牙海岸、仏共同体内の共和国として独立。

◆コンゴ・カタンガ州の「制憲議会」、ツォンベ首相を「独立国カタンガ」の大統領に選出。

8月9日

◆ラオスの左翼グループ、クーデターに成功、親米現政権指導者を軟禁。

◆フィリピン政府、米ジェット機の着陸を禁止。

◆パキスタン外務省、対ソ石油開発交渉を開始。

◆インドネシア・キューバ友好協会発足。

◆インドのパント内相、基幹サービス部門のストを禁止。

◆米当局、アラブ連合シリア地区に余剰農産物を供与する協定に調印。

◆国連安保理事会、セイロンとチュニジアの共同決議案を可決。

◆コンゴ全土に非常事態宣言。

◆アンダーソン・米財務長官、IDA（国際開発協会、第2世銀）の定款に署名。

8月10日

◆朝鮮・中国友好協会代表団の一行、北京着。

◆ラオスのクーデターに成功した反乱軍、臨時政府を樹立し、外国軍の撤退を要求。

◆カンボジア訪問中のマクドナルド駐インド英高等弁務官、シアヌーク殿下と非公式に会談。

◆ワシントン輸出入銀行、セメント工場拡張資金援助のためインドネシアに690万ドルの借款供与。

◆インドネシア外務省、フィリピンとマラヤ連邦提唱の「東南アジア諸国連合」案を拒否。

◆ジュアンダ・インドネシア首席閣僚、ソ連、東欧歴訪を終え帰国。

◆メノン・インド国防相、ラダク領空侵犯事件を発表。

◆ネール・インド首相、マハラシュトラ州に原子力発電所建設を発表。

8月11日

◆北ヴェトナム、南ヴェトナムに余剰茶の買い取りを提案。

◆ラオス革命委員会、臨時執行委員会を設置。

◆インドネシア当局、1961年からソ連援助500万ドルで原子炉建設工事を開始。

◆インドネシア政府、日本政府のオランダ空母入港許可に抗議。

◆旧仏領赤道アフリカに属していたチャド独立。

8月12日

◆尹潽善氏、韓国大統領に当選。

◆DLF、インドに5000万ドルの借款供与を承認。

◆ソ連・アフガニスタン両国、通商協定に調印。

◆ハマースホルド国連事務総長、安保理事会に対コンゴ行政技術援助計画案を提出。

◆アラブ連合、スーダン、インドネシア、コンゴの国連軍に参加。

8月13日

◆ラオス国民議会、ソムサニット内閣を不信任。

◆中国・ネパール国境合同委員会第1回会議、カトマンズで開く。

◆台湾、砂糖40万トン在日本へ輸出することに同意。

◆ルアンブラバンのソムサニット政府総辞職。

◆セイロン政府、ぜいたく品の輸入関税引き上げを発表。

◆コンゴのルムンバ首相、国連白人部隊の撤退を希望。

◆ツォンベ・カタンガ州首相とハマースホルド国連事務総長との会談終わる。

◆旧仏領赤道アフリカのウバングィヤリ、「中央アフリカ共和国」として独立。

8月14日

◆ノサバン元国防相南ラオスのサバナケットに反クーデター本部設置。

◆ラオスのクーデター委員会、破壊

分子の追放を要請。

◆インドネシア国家開発計画審議会、開発8カ年計画案を提案。

◆アフガニスタン政府、パキスタン機の領空侵犯に抗議。

◆カタンガ州の首都エリザベトビル、ベルギー軍から国連軍に正式移管。

8月15日

◆朝鮮解放15周年記念集会、南北両朝鮮で行なう。

◆中国国民党革命委員会第4期中央委員会第2回全体会議拡大会議開く。

◆ラオス国王、プーマ元首相を首相に任命。

◆コン・レ大尉の率いるクーデター委員会、平和五原則を守るとのコミュニケを発表。

◆インド・パキスタン両国、インダス川水利協定締結。

◆ソ連とアラブ連合、モスクワでアスワン・ダム第2期工事協力協定の締結について討議。

◆DLFから、アラブ連合シリア地区に対し500万ドルを融資する協定成立。

◆コンゴのルムンバ首相とハマースホルド国連事務総長の交渉決裂。

◆ハマースホルド国連事務総長、国連安保理事会の招集を要請。

8月16日

◆タイ首相、ラオス国境地帯を視察。

◆英国、インドに100万ポンド借款供与。

◆ラオスにスバナ・プーマ新内閣成立。

◆DLF、セイロン政府に320万ドルの借款供与を承認。

◆マラヤと日本との通商協定発効。

◆コンゴ政府、コンゴ全土に6カ月間の戒厳令し。

◆共産圏諸国、国連82カ国軍縮委員会に参加決定。

8月17日

◆訪米中のサントス・フィリピン国防相、攻撃用ミサイルの持ち込みを許可せざと声明。

◆ガルシア・フィリピン大統領、台風の被害地に非常事態宣言。

◆スカルノ・インドネシア大統領、オランダとの断交宣言。

◆イラン下院選挙施行。

◆インド、エクアドルなど6カ国、82カ国軍縮委員会に共同決議案提出。

◆アフリカのガボン独立。

8月18日

◆カンボジア語親共系4紙停刊。

◆周恩来中国首相、西イリアン問題でインドネシアを支持。

◆米政府、パキスタンに研究用原子炉計画のため35万ドル贈与。

◆米國務省、ガーナのボルタ川開発計画に3000万ドル融資を発表。

◆国連82カ国軍縮委員会、インドなど6カ国提案の共同決議案を採択。

8月19日

◆南ヴェトナム保安警察当局、サイゴンで騒乱分子10人を逮捕。

◆イラク・ソ連両国、鉄道建設のための経済・技術援助協定調印。

8月20日

◆南ヴェトナム政府軍、共産ゲリラ4人を殺害。

◆ラオスのスバナ・ブーマ首相、「ノサバン前国防相ら反革命派は首都へ進撃中」と発表。また反革命軍は全土に戒厳令を布告した。

◆中国・インド国境問題に関する中国・インド両政府当局者会議再開。

◆マラヤ・タイ両国、国連本部に覚え書きを送り、チベット問題を正式討議するよう要請。

8月21日

◆中国、米艦の領海侵入で119回目の警告。

◆マラヤ・ガーナ両国政府、南アフリカ連邦の商品ボイコットをセイロンにも要請。

◆陳毅中国副首相、アフガニスタンの首都カブールに到着。

◆米政府、ヨルダンに5650万ドルの援助供与を発表。

◆コンゴ問題を討議するため国連緊急安保理事会開く。

8月22日

◆米國務省、対印余剰綿大量売却を発表。

◆テヘランでパキスタン・イラン国境地方の行政権に関する協定調印。

◆ビルマ議会、年3回開会に決定。

◆ウ・ヌー・ビルマ首相、中国への譲渡領域に合意。

◆アラブ連盟外相会議開く。

◆コンゴ問題討議の国連安全保障理事会終わる。

8月23日

◆朝鮮の「千里馬作業班」運動先進活動家大会終わる。

◆張勉新内閣成立。

◆鄭一亨韓国外務部長官、日韓外相会議を提唱。

◆ブーマ・ラオス首相とノサバン前国防相、南ラオスで和平会談。

◆ラオスの反革命軍、サラカルム港を占領。

◆ラオス愛国党首のスファマボン殿下、スバナ・ブーマ政府の政策支持を声明。

◆カンボジア政府、共産党員と親共紙の従業員15人を逮捕。

◆スカルノ・インドネシア大統領、オランダ航空母艦訪日許可取り消しを要求。

◆アラブ連合、対オランダおよび対仏資産問題に同意。

◆ソ連、アラブ連合に造船所建設のため技術援助を与える協定を発表。

◆アラブ連盟諸国、アラブ連盟外相会議で対仏断交要求。

◆コンゴ政府、国連のコンゴ援助協定に調印。

◆国連安保理事会、アフリカの新独立国8カ国の国連加盟を承認。

8月24日

◆韓国国防部長、兵力を50万人に削減すると発表。

◆ソ連・モンゴル両国代表団、全体会議を開く。

◆南ヴェトナム政府、反政府デモの首謀者4人を逮捕。

◆故ノロドム・スラマリト・カンボジア前国王の国葬行なわる。

◆カンボジアの元首シアヌーク殿下、ラオスの中立を歓迎。

◆インドネシア政府、新税制を採用。◆日本・タイ両国、日本がタイに電気技術者養成センターを設置する協定に調印。

◆メノン・インド国防相、中国機のインド領空侵犯に抗議。

◆アラブ連盟外相会議、アルジェリア義勇兵計画承認。

◆ネパール・中国両国、国境問題委員会に専門家を任命することに同意。

8月25日

◆韓国の沿海警備艇、北鮮船と交戦。

◆アイゼンハワー米大統領、南ヴェトナムの反共闘争援助を約束。

◆南ヴェトナム政府軍、フォンディン州でゲリラを掃討。

◆ラオス抗戦部隊（パテト・ラオ）放送局、米国の干渉を非難。

◆セラノ・フィリピン外相とヒカソン米大使、基地問題で会談。

◆タイ政府当局と米国スタンダード石油会社、精油所建設を契約。

◆メイア・イスラエル外相、イスラエル・アラブ和平会議の即時開催を要求。

◆エンクルマ・ガーナ大統領、ルモンバ・コンゴ首相に自重勧告の書簡を送る。

◆アフリカ代表会議開く。

8月26日

◆韓国民議院で鄭憲柱交通相と梁一東議員乱闘。

◆ラオス国民議会、スバナ・ブーマ内閣を再確認。

◆SEATO加盟8カ国代表、ラオス情勢を検討。

◆ラオス・タイ両国の砲艦交戦。

◆インド下院、第3次5カ年(1961~66年)計画草案を承認。

◆中国・ビルマ国境合同委員会第3次会議第1回会談開く。

◆フィリピン・米両国、中国の承認と中国の国連加入を認めぬ方針に合意。

◆中国・アフガニスタン間の友好相

互平和不可侵条約調印。

◆ソ連・イラク両国、イラクの鉄道建設協定に調印。

◆イラクの非合法共産党の幹部党員射殺さる。

8月27日

◆ジャカルタ戒厳司令部、南ボルネオの左派活動を禁止。

◆ヴェトナム人民軍総司令部連絡代表団、南ヴェトナムの政治犯虐殺に抗議。

◆ソ連とアラブ連合、アスワン・ダム完成の援助協定に調印。

8月28日

◆中国民主党結成。

◆インドネシアの南スマトラ地区軍司令官、同地区での共産党活動禁止。

◆コイララ・ネパール首相、ムスタング事件解決と発表。

◆パーレビ・イラン国王、エグバル首相の辞表を受理。

◆ワシントン輸出入銀行、イスラエルの国営航空会社エル・アルへの1000万ドルのクレジットを認可。

◆アラブ連盟外相会議終わる。

◆米國、イスラエルと取り引きする米商社のボイコット問題でクエートに抗議。

◆ソ連・ガーナ両国、経済・技術・貿易協定に調印。

8月29日

◆朝鮮軍事休戦委員会開く。

◆金日成北鮮首相、中国・朝鮮友好協会代表団と会見。

◆サバン・パッタナ・ラオス国王、プーマ殿下に組閣を要請。

◆タイ経済省、米の輸出を規制。

◆パキスタン・アラブ連合両国、第3回バーター協定に調印。

◆パキスタン政府、コミラ綿の輸出税を引き下げ。

◆ハザ・マジャリ・ヨルダン首相、アンマンの爆弾爆発事件で死亡。

◆マジャリ・ヨルダン首相の後任にバフジャト・エル・タルフニ氏指名。

◆ヨルダン政府、非常事態を宣言。

◆アラブ連合・ガーナ両国、民間航空協定に調印。

8月30日

◆国府、米國から1420ドル相当の農産物買い付け協定に調印。

◆鄭韓国外相と小坂外相、日韓問題を討議。

◆東独・カンボジア両国、貿易支払い協定に調印。

◆米國のフォード財団、インドへ237万7000ドル贈与を発表。

◆ソ連、インドの第3次5カ年計画に5億ルーブルの借款を約束。

◆インドネシア軍当局、南セレバスでの共産党活動禁止。

◆インドネシアのソロで開かれていたSOBSI(全インドネシア労働中央組織)の第3回全国大会終わる。

◆ヨルダン国王、タルフニ新内閣を承認。

◆ヨルダンのフセイン国王、アラブ連合がマジャリ暗殺事件に関係しているとは非難。

◆コンゴ政府、ILO(国際労働機関)とジュネーブでコンゴ援助に関する協定を締結。

◆コンゴ駐留のベルギー軍、撤退完了。

8月31日

◆ラオス国民議会、スバナ・プーマ新内閣を信任。

◆コン・レ大尉、新内閣に反対。

◆ネ・ウィン・ビルマ国防軍参謀総長、米英訪問を終え帰国。

◆インドネシア議会、日本政府がオランダ空母カレル・ドールマンの寄港を許可したことに抗議。

◆イランのシャリフ・エマミ新内閣成立。

◆レオポルドビルで開かれていたアフリカ代表会議終わる。

9月1日

◆北ヴェトナム建国15周年式典を挙行。

◆コン・レ大尉、ラオス新内閣を承認。

◆マラヤの元首ヒサムジン・アラム・シャー首長、熱病のため死去。

◆日本政府、インドネシア政府にオランダ艦隊の横浜寄港を認める旨最後通告。

◆インド、ネパールに対する1470万ネパール・ルピーの追加援助に同意。

◆パーレビ・イラン国王、総選挙のやり直しを勧告。

◆インドのバンドンで開かれていたWHO(世界保健機構)東南アジア地域委員会終わる。

◆ガット関税交渉会議、ジュネーブで開く。

9月2日

◆韓国漁民、李ライン修正に反対。

◆プーマ殿下を首相とするラオス新中道内閣、正式発足。

◆カンボジア国家元首シアヌーク殿下、辞意を表明。

◆フセイン・ヨルダン国王、マジャリ前首相暗殺容疑者をアラブ連合に引き渡すよう要求。

9月3日

◆国府空軍、国産ミサイルの実験に成功。

◆DLF、エジプト工業銀行に700万ドルの借款供与の協定に調印。

◆アラブ連合政府、ヨルダン首相暗殺事件に関するヨルダンの非難に反論。

◆オランダ外務省、日本政府の要請によりオランダ空母の訪日取り消しを発表。

9月4日

◆韓国検察庁、国会議員選挙の違反容疑者46人を起訴。

◆インド共産党中央執行委員会開く。

◆スカルノ・インドネシア大統領、軍と共産党の会談を提唱。

9月5日

◆北鮮帰還延長問題を協議する日朝両赤十字会談、新潟県庁で開く。

◆ヴェトナム労働党第3回大会開く。

◆カサブ・コンゴ大統領、ルムンバ首相を解任、後任にジョゼフ・イレオ上院議長を任命。

◆ルムンバ・コンゴ首相、カサブ大統領を大統領の地位から追放。

◆第2回アジア生産性会議、マニラで開く。

9月6日

- ◆周恩来中国首相，大ソマリ連盟議長と会見。
- ◆日中貿易促進会東京で開く。
- ◆韓国陸軍諜報部筋によると，金日成韓朝鮮首相，中国派幹部を肅清。
- ◆小坂外相は尹大統領，張首相，鄭外相と会談したあと，日韓共同声明を発表。
- ◆アラブ連合とスーダンの貿易会談終わる。

9月7日

- ◆セイロン・中国両国，セイロン・ゴム5000トンの対中国追加輸出について交渉中。
- ◆DLF，マニラのオーバル・ケミカル社に210万ドルの借款供与を承認。
- ◆ラオスのブーマ新内閣，米援助顧問団にラオス援助の継続を要請。
- ◆インドネシア政府，前オランダ企業30社を国有化。
- ◆シリア地区への技術援助に関するソ連・アラブ連合協定調印。
- ◆EEC（欧州共同市場）6カ国の閣僚理事会，コンゴに対する投資計画続行を決定。
- ◆ルムンバ・コンゴ首相，コンゴの即時軍事援助を全アフリカの独立国に要請。
- ◆訪韓親善使節の旅を終えた小坂外相ら一行帰国。

9月8日

- ◆日中関係改善，政経懇話会開く。
- ◆陳毅中国副首相，アフガニスタンの訪問を終え帰国。
- ◆ラオスのノサバン将軍，反クーデター委員会を復活。
- ◆ソ連とアラブ連合，工業設備の建設などに関する契約に調印。
- ◆コンゴ上院，ルムンバ首相を信任。
- ◆ルムンバ・コンゴ首相，全国連軍の撤退を要求。

9月9日

- ◆コンゴ問題に関して国連安保理事会開く。
- ◆フルンチョフ・ソ連首相，国連総会出席のため出発。
- ◆世界銀行，イスラエルに港の建設

援助のため2750万ドルの借款供与を発表。

- ◆ワシントン輸出入銀行，4発ジェット旅客機2機の買い付け資金援助のためイスラエルに6890万ドル融資。

9月10日

- ◆劉少奇中国國家主席，セクー・トーレ大統領一行と会見。
- ◆フルンチョフ・ソ連首相とツェデンバル・モンゴル首相，新経済技術援助協定に調印。
- ◆ヴェトナム労働党第3回全国大会終わる。
- ◆米國務省，ラオスのノサバン副首相の支持で新革命発生と発表。
- ◆ガルシア・フィリピン大統領，米の輸出を禁止。
- ◆コンゴのジョゼフ・イレオ新内閣成立。
- ◆コンゴの国民議会，NATO加盟国軍隊の撤退を要求。
- ◆第2回アジア生産性会議，APO（アジア生産性機構）憲章を承認。
- ◆石油産出国会議，バグダットで開く。

9月11日

- ◆劉少奇中国國家主席とセクー・トーレ・ギニア大統領，会談。
- ◆北ヴェトナム訪問中のソ連代表団，北ヴェトナム労働党，政府首脳と会談。
- ◆ノサバン副首相の率いる反革命委員会，ブーマ内閣とラオス国会の不承認を決定。
- ◆サバナケットの革命本部放送によれば，ノサバン将軍とブン・オム殿下の率いる反革命政府，サバナケットにト成立。
- ◆世界銀行主催の第3回インド債権国会議，3日間パリで開く。
- ◆インドネシア生産省，国营企業管理委員会を設置。
- ◆インド・ネパール新通商協定調印。

9月12日

- ◆韓国の第2次張勉挙党内閣成立。
- ◆インド・パキスタン国境協定実施会談終わる。

◆アラブ連合とギニア，通商協定に調印。

- ◆ヨルダンのフセイン国王，現国会の任期を1年以上延長と布告。
- ◆国連安保理事会，コンゴ問題の討議を再開。
- ◆コンゴのルムンバ首相，上下両院議会で信任を再確認。
- ◆コンゴのカサブブ大統領，ルムンバ首相逮捕を命令。
- ◆カサブブ・コンゴ大統領派のイレオ新首相，閣僚名簿を発表。

9月13日

- ◆劉少奇國家主席とセクー・トーレ・ギニア大統領，中国・ギニア友好条約および経済・技術協力協定と貿易支払い協定に調印。
- ◆ソ連，アラブ連合シリア地区に2億8500万ルーブルの経済援助を発表。
- ◆スカルノ・インドネシア大統領，11月30日まで政治活動を全面禁止。
- ◆CIAVE（フランス農工輸出会社）とフィリピンのフィロイル精油会社，精油所建設契約に調印。

9月14日

- ◆朝鮮軍事休戦委員会第126回会談開く。
- ◆ワシントン輸出入銀行，インドに410万ドルの借款供与を発表。
- ◆インドネシアの右翼政党「マシュミ党」解散。
- ◆インドネシア議会，土地改革基本法を採択。
- ◆イラク平和戦士委員会常設局が組織した「軍縮をかちとり，アルジェリアを支持する週間」，バグダットで開く。
- ◆カサブブ・コンゴ大統領，議事に1カ月休会を命令。
- ◆石油生産国会議終わる。

9月15日

- ◆DLF，ボンベイのICICに500万ドルの借款供与を発表。
- ◆米・フィリピン基地協定改定交渉再開。
- ◆インドネシアの臨時人民会議発足。